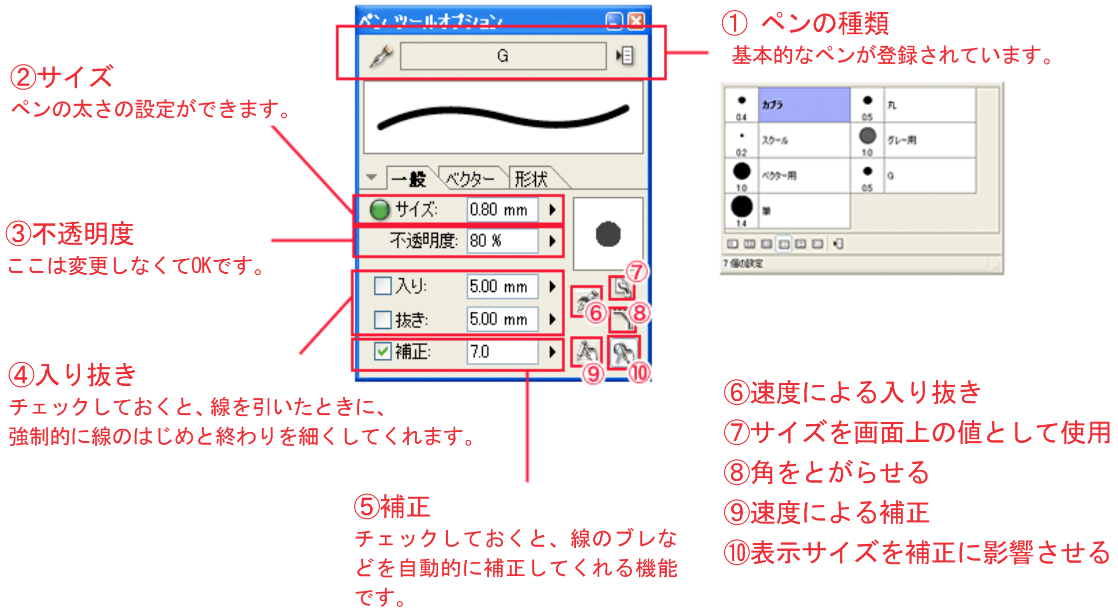
STEP
4

落書きのちょっとしたテクニック

ComicStudioで適当に落書きしていると、「ここどうにかならないかな—… 」とか「ここがこうできればいいのに… 」と思う点が色々出てくるかと思います。今回はちょっとしたポイント、落書きがちょっと楽になるテクニックを紹介したいと思います。

ペンの設定を制する者はコミスタを制す

ペンを自分好みに設定できるようになると、絵を描くときのウキウキ感も違ってきます。ペンツールの設定は、ツールオプションで行えます。



1 ペンの種類

「Gペン」「丸ペン」「カブラペン」など、ペンの種類を選ぶことができます。選んだペンによって、線の強弱のつきかたが違います。「Gペン」だと筆圧によって線の強弱がつきやすく、「カブラペン」だと筆圧によってあまり線の強弱がつきません。

ペンの簡単な特徴

Gペン	線の強弱がつきやすい。
丸ペン	カブラペンより強弱がつきやすく、Gペンより強弱はつかず、繊細な線が引ける。
カブラペン	線の強弱がつきにくく、均一の線が引ける。
筆	柔らかく、入り抜きが強めについている。 ツヤベタなどをするのに便利。

2 サイズ

ペンの太さの設定を行えます。ComicStudioは筆圧によって線の太さが変わりますが、一番筆圧をかけた時にここで設定する太さになります。

3 不透明度

ペンのインクの濃度を決められるのですが、レイヤーの設定を考えないと少し面倒なので、今は100%のまま変更しないでおいてください。

4 入り抜き

線を引いたときに、強制的に線のはじめと終わりが細くなる機能です。「入り」にチェックを入れると「線の描き始め」、「抜き 」にチェックを入れると「線の描き終わり 」を指定の数値で細くします。
数値を大きくすればするほど、入り抜きが強くなります。線が自動的に細くならないようにしたい場合は、ここのチェックを外してください。

5 補正

線のブレなどを自動的に補正してくれる機能です。数値が大きいほど、たくさん補正します。これも、描くものによって数値を調整するといいです。個人的な感想としては、5〜10以下に設定しておくと、描くときに微妙に線を補正してくれるので、それくらいか、補正ナシにしています。

6 速度による入り抜き

タブレットで描くスピードによって線の入り抜きの強さが変化します。早く線を引くと入り抜きが強くつきます。コレのチェックを入れておくと、気持ちよく線が引ける(気がする)ので、結構オススメです。

7 サイズを画面上の値として使用

表示倍率に関係なく、サイズプレビューのカーソルサイズで描画するのですが…慣れないと使うのが難しそうなので、切っておいていいかと思います。

8 角をとがらせる

チェックを入れておくと、描画した線の角をとがらせることができます。普通に描いてると、ペンの形状が丸なので、角が丸くなってしまうのですが、これにチェックを入れるととがらせることができます。これは好みだと思うので、好みにあわせてチェックを入れてみてください。

9 速度による補正

描画のスピードによって、補正のかかり方が変化します。ゆっくり引くと弱め、早く線を引くと強めに補正がかかるようです。この項目も慣れないと使いこなすのが難しそうなので、一回試してみて、使いやすかったらオンにしておけばいいかと思います。

10 表示サイズを補正に影響させる

表示の拡大率によって、補正のかかり方が違います。表示サイズを縮小すると、補正のかかり方が強くなる模様。これも…好みだと思うので、試してみて使いやすかったら使えばいいのではないかと思います。

とりあえず、説明や設定が色々ありますが、「ペンの太さ 」、「入り抜き 」、「補正 」、のあたりを押さえておけばいいかと思います。

Column 速度による入り抜き

こっそりオススメなのが、「速度による入り抜き」。コレにチェックを入れておくと、結構気持ちよく線が引ける感じがするので、私は常にオンになっています。他にも、ツールオプションで「ベクター」に関する設定や、ペン先の形状に関しての設定ができますが、とりあえずは、「一般」で設定できるところを調整してみれば充分かと思います。

色々できる！環境設定

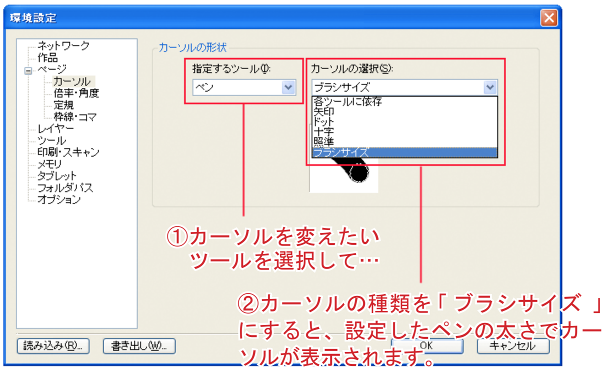
ペンのサイズを太くしたり細くしたりしながら描いていると、サイズをかえているのに、カーソルはペンの形のまま…どうせなら、設定したサイズが表示されたら便利なのに、と思ったら、「ファイルメニュー 」の「環境設定 」を開きましょう。環境設定というと難しそうですが、実はここでComicStudioの基本的な設定ができるようになっています。

設定しておくとちょっと便利な項目

1 ペンのカーソルを変更する

ペンのカーソルは、環境設定の「ページ」(ダブルクリックすると更に他の設定が開きます) の「 カーソル 」で、「 カーソルの選択 」を「ブラシサイズ 」にして、OKボタンを押せば変更完了です。

ペンの他にも、消しゴムやマジック、鉛筆、筆ペン、パターンブラシのカーソル設定ができるので、よく使うものは変更しておくといいと思います。特に消しゴムは消すサイズが表示されるとわかりやすいのでオススメです。



2 取り消し回数を増やす

やり直しの回数を最大50回まで増やすことができます。
いっぱいやり直ししたい、やり直しする可能性がある人は多めに設定しておくといいかも？

3 起動時にムービーガイドを表示しないようにしたい

起動時に表示される「 ムービーガイド 」(初回起動時にスタンダードインターフェースを選んだ場合は表示されていないと思います)。
毎回表示する必要がない場合は、「オプション 」の「表示 」のところで「ムービーガイドを表示しない 」にチェックすれば起動時に表示しなくなります。

4 起動時に新規作成されないようにしたい

起動時に新しい原稿が作成されますが、これも毎回は作成されなくてもいいや…って時は「起動時の動作」で「なにもしない」にすればOKです。

今回は、落書きしてて気になるかな？というちょっとしたテクニックを紹介しました。ペンの設定なんかは、太さ、入り抜き、補正さえ押さえておけば充分だと思いますが、色々試してみるのも楽しいかと思います。思いがけず、描き味が変わって快適になったりしますよ。

次回はいよいよ、真面目に2Pくらいの作品を作りはじめてみようと思います。